

単元名	(旧)魅力が伝わるパッケージ(デザインや工芸など)	配当時間	6時間
単元の目標	(1) 紙や絵の具などの特徴を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして、形成や着彩の順序などを総合的に考えながら、創造的に表現できる。 (2) 中身のイメージを多くの人に伝えるために、形や色彩などの効果を生かしてわかりやすさの美しさ等を考え、表現の構想を練ることができる。伝えることと形や色彩などとの調和のとれた洗練された美しさ、作り手の意図などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わうことができる。 (3) パッケージデザインに関心を持ち、主体的に造形的な工夫を表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとする。		

## 標準的な展開例

12270204\_001

【準備等】教科書、ワークシート、画用紙、色鉛筆、絵の具、糊、ボンド

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 飴のパッケージの参考作品を鑑賞し、主題を決め、スケッチを描く。 ★キャンディボックスをデザインしよう。 飴のイメージについて意見を発表し、主題を決定する。  ○ワークシートにアイデアスケッチを描く。  2～5 主題を基に制作する。 ★アイデアスケッチを基に制作する。 ○箱の展開図が印刷された画用紙に下描きをする。  ○ポスターカラーで着彩し、展開図通りに切り出し、箱型に組み立てる。  6 完成した作品を鑑賞する。 ★作品の批評をしてみよう。 ワークシートを使い、作者の意図や創造的な工夫について批評し合う。	・飴のイメージを話し合うことでアイデアを膨らませやすくする。 【評】参考作品のよさや飴のイメージを積極的に発言する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・飴の味や形など、何からイメージしたか、飴のどのような特徴を表現しているかを言葉で書き加えさせる。 ・色鉛筆を使い、配色も考えさせる。 【評】飴の魅力が伝わるように形や配色を工夫し、アイデアスケッチする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。  ・箱の正面を意識させて下描きをさせるとよい  ・平塗りの技法でしっかり着彩させる。 ・糊やボンドを使用し箱型にさせる。 【評】形や色彩、用具を工夫しながら見通しをもって創造的に表現する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。  ・完成作品からどんなイメージが伝わってくるか、他者の意見に耳を傾けたり、自分のイメージを発表したりさせることで客観的に自分の作品を振り返らせたい。 【評】それぞれのパッケージのよさやイメージを批評し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

## 【 備 考 】

本単元では、中身のイメージが多くの人に伝わるように、魅力的な装飾や配色などを考え、材料や用具の生かし方などを工夫してパッケージをデザインさせたい。

言語活動としては、飴のイメージを話し合ったり、完成作品からどんなイメージが伝わってくるか、他者の意見に耳を傾けたり、自分のイメージを伝えたりさせるとよい。

本単元を8時間完了で展開する場合はパッケージの形もアイデアスケッチで考えさせてから制作させてもよい。